

土屋絢子 vocal
 伊藤志宏 piano
 伊東佑季 contrabbass

2023 12月24日(日)

開場 16:30

開演 17:00

(2ステージ入替無)(1drink=600)

MC=3700+2drinks order

CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
 必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
 ご記載下さい。



伊藤志宏

ピアニスト、ボタンアコーディオニスト、作曲家、アレンジャー、プロデューサー五歳の頃より祖父の岸川基彦にクラシックピアノを師事する。14歳のとき東京交響楽団とベートーベンピアノコンチェルト三番を共演好評を博す。慶応義塾経済学部入学後セロニアスモンクのソロピアノのCDを聞いて「ジャズもいいかも」と思い独学で始め音楽理論も同時に一人で学ぶ。23歳くらいからいつの間にかライブを始めるようになりプロ活動を開始特にドラム、ベースのいない変則形態における演奏には定評がある。今現在、ソロピアノ、ピアノトリオ、多様な編成での独自の活動を模索中。また沢山の歌手から伴奏者、アレンジャーとして信頼を寄せられる。

<リーダー作>

2012年10月、自身の初リーダー、プロデューサー作品「ladies & pianoman」を発表、ウィリアムス浩子、畠山美由紀、青木カレン、一青窈、たなかりかななど10人のボーカルを集め、ジャズスタンダードを独自の解釈で表現。2014年、「ヴィジオネール」と3 cello varistion「タペストリア」をリリース。2018年、3 cello varistion 2nd album「NOCTIODRIA」をリリース。

土屋絢子

国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業ジャズを基本に多くのコンテンポラリーな企画、バンドでvoice(歌詞のない声だけのパート)としてライブやレコーディングで活動中。一方で日本語の曲にも定評があり、オリジナルやカバー曲も歌ってみたなどで配信している。また映画音楽BGM、CMや企業アートのコーラスにも多数参加。自身のバンドQioetronicaクワイエトロニカの『懐かしい未来』2022年12月に全国リリース。また、ジャズピアニストビルエバンスにまつわる企画Bill Evans Songbookも活動中。その他に、ジャズとクラシックをハイブリットにブレンドされた自己の作詞によるユニット「ことは、と」アルバム【白をまよえば】2017年(Pf:津嘉山梢 Wb:伊東佑季)ヴィブラフォニスト山下真理のオリジナル曲中心によるユニット「Tayu Tou」にボイスとして参加。アルバム【TayuTou】2018年(Vib:山下真理 Gt:福富博 Ds:則武諒)などがある

伊東佑季

北海道旭川市出身。JMIA ジュニアジャズオーケストラとの出会いをきっかけにジャズを始める。同バンドのメンバーとしてチック 코리아やエドシングペン等との共演を果たす。洗足学園音楽大学入学後、Berklee College of Music の World Scholarship Audition を受け、全額奨学金を受賞し渡米。卒業後、NY を拠点に活動。日本にも来日した NY を拠点に活動するバンド「BANDA MAGDA」のベーシストとしても活動していた。帰国後は都内を中心に活動。現在は、栗林すみれトリオ、土屋絢子(vo)・津嘉山梢(pf)とのトリオ「ことは、と」、山本玲子(vib)とのデュオユニット「te-te」等のバンドを中心に活動。トランペットの高澤綾とも頻繁に双頭リーダー企画バンドを行なっている。また、自身でもビッグバンドのライブを企画をするなど、リーダーとしての活動も積極的に行なっている。ジャズベーシストとしての活動以外にも、作編曲家としての幅広いジャンル音楽を提供しており、ジャズだけでなく、クラシックやポップスなどの指導を行うなど後進の指導にも力を入れている。